

## 消防ヒヤリハットデータベース事例回答シート

【事故概要について】



|                 |                                                                                                                                             |
|-----------------|---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 1. 事故・ヒヤリハットの別  | ヒヤリハット                                                                                                                                      |
| 2. 体験した事例の名称    | 倒壊危険のある建物内を捜索中、適切な対策を講じなかった事例                                                                                                               |
| 3. 体験した事例の中心的要素 | 河川から氾濫した濁流により道路が削られ、道路と近接する木造住宅との間に約10mの高低差が生じていた。木造住宅の一部は基礎部分を失っており、倒壊危険があった。活動隊は倒壊危険のある木造住宅の存在を把握していたにもかかわらず、適切な対策を講じることなく行方不明者の捜索活動を行った。 |
| 4. 体験した事例の原因・理由 | ホットゾーン内における進入隊員の制限や安全管理要員の適切な配置等の適切な対策を講じなかった。                                                                                              |

【体験した事例の直接的原因について】



|                  |                              |
|------------------|------------------------------|
| 1. 体験した事例の直接的な原因 | 行動の意志決定に問題があった。(大丈夫だろうと思った。) |
|------------------|------------------------------|

【体験した事例について】



|                                  |                      |
|----------------------------------|----------------------|
| 1. 発生日時                          | 平成29年7月12日 午前        |
| 2. 発生した当時の天候                     | 晴れ                   |
| 3. 発生した活動現場                      | 屋外：濁流により道路が削られた箇所    |
| 4. 体験した事例の種類                     | 回答者が、自分自身で負傷しそうになった。 |
| 5. 事故の程度(ヒヤリハットの場合、仮に負傷したときの程度)  | 死亡していた(させていた)だろう     |
| 6. どのようなことが起きたのか(起きそうになったのか)     | 崩壊・倒壊(に巻き込まれる)       |
| 7. 事例体験時の活動                      | 救助                   |
| 8. (7の活動中)どのような作業中に発生したか         | 人命検索・救出              |
| 9. 同様の体験は、これまでにどの程度の頻度で体験していますか。 | これまでに1, 2回程度体験している。  |

● ● ● ● ● ● ● ● ● ● ● ● ● ● ● ● ● ● ● ● ● ●

|                   |                                                                    |
|-------------------|--------------------------------------------------------------------|
| ○当事者A             | 年齢[29]歳、勤続年数[10]年、現場経験年数[8] 年、階級[消防士長]<br>同様の活動 [過去に1,2回程]、任務 [隊員] |
| ○当事者B             | 年齢[ ]歳、勤続年数[ ]年、現場経験年数[ ] 年、階級[ ]<br>同様の活動 [ ]、任務 [ ]              |
| ○当事者C             | 年齢[ ]歳、勤続年数[ ]年、現場経験年数[ ] 年、階級[ ]<br>同様の活動 [ ]、任務 [ ]              |
| ○その他(当事者が4人以上の場合) |                                                                    |

[illegible]

|      | 誰が(何が) | なにをした                   | その他・備考など |
|------|--------|-------------------------|----------|
| 経過1  | Aが     | 倒壊危険のある木造住宅の存在を把握した。    |          |
| 経過2  | Aが     | ホットゾーンの設定等の対策を講じなかった。   |          |
| 経過3  | Aが     | 受傷危険がある中行方不明者の搜索活動を行った。 |          |
| 経過4  |        |                         |          |
| 経過5  |        |                         |          |
| 経過6  |        |                         |          |
| 経過7  |        |                         |          |
| 経過8  |        |                         |          |
| 経過9  |        |                         |          |
| 経過10 |        |                         |          |
| 経過11 |        |                         |          |
| 経過12 |        |                         |          |

[illegible]

○事故の場合：事故が起きたのはどうしてだと思うか？

○ヒヤリハットの場合：ヒヤリハットで済んだのはどうしてだと思うか？

|                |
|----------------|
| たまたま、事故にならなかった |
|----------------|

### ○心理・体調について

a. あせりを感じていた

|                                       |     |
|---------------------------------------|-----|
| ・早く、現場到着や、活動をしなければならないという“あせり”を感じていた。 | いいえ |
| ・被害拡大が消防活動を上回っており“あせり”を感じていた。         | いいえ |
| ・周辺の野次馬などにより“あせり”を感じていた。              | いいえ |

b. 注意力が欠如していた

|                                 |     |
|---------------------------------|-----|
| ・1つの事象に集中し、他の事象への注意力を欠いた。       | いいえ |
| ・活動終息(鎮火等)や活動内容が些細だったため注意力を欠いた。 | いいえ |
| ・体調不良や疲れにより注意力を欠いた。             | いいえ |

c. 経験・知識が不足していた。

|                            |     |
|----------------------------|-----|
| ・活動内容が、自己の能力や技量を超えていた。     | いいえ |
| ・活動中に起こりうる危険について認知していなかった。 | はい  |
| ・活動に対する経験が不足していた。          | いいえ |

d. 心身の不調があった。

|           |     |
|-----------|-----|
| ・体調が悪かった。 | いいえ |
| ・悩み事があった。 | いいえ |

○装備・資機材について

e. 資機材の故障・不具合があった。

|                      |     |
|----------------------|-----|
| ・装備・資機材自体に問題があった。    | いいえ |
| ・装備・資機材の使用 방법이誤っていた。 | いいえ |
| ・装備・資機材の対処能力を超えていた。  | いいえ |
| ・必要とする装備・資機材がなかった。   | いいえ |

○活動環境について

f. 障害物や自然環境(雨・濃煙)によって視界がさえぎられた。

|                                 |     |
|---------------------------------|-----|
| ・障害物(建物等)のため周囲の状況が見えなかった。       | いいえ |
| ・特異環境(煙、暗闇、降雨等)のため周囲の状況が見えなかった。 | いいえ |

g. 行動しにくい環境だった。

|                  |     |
|------------------|-----|
| ・狭隘な場所であった。      | いいえ |
| ・暑かった(寒かった)。     | はい  |
| ・野次馬が多かった。       | いいえ |
| ・現場周辺の地理に不案内だった。 | はい  |

h. 足場が悪かった。

|                  |    |
|------------------|----|
| ・足元が躓いたり滑りやすかった。 | はい |
| ・足元の強度が不足していた。   | はい |

○指揮・管理について

i. 適切な指示が得られなかった(適切な指示を与えられなかった)。

|                                     |     |
|-------------------------------------|-----|
| ・活動指示が得られなかった。(無線が通じない等。)           | はい  |
| ・指示内容に誤り・偏りがあった。                    | はい  |
| ・指示内容が実施困難であった。(周辺環境に、隊員技量の把握に欠けた。) | いいえ |

k. 関係者間の情報伝達・役割分担が不十分だった。

|                |     |
|----------------|-----|
| ・隊員の連携が不十分だった。 | いいえ |
| ・隊員が不足していた。    | いいえ |

○その他

l. その他の理由があった。

|  |
|--|
|  |
|--|

【事故発生後の取り組みについて】



○注意力欠如、焦り等の対策について

|  |
|--|
|  |
|--|

○装備・資機材の対策について

|  |
|--|
|  |
|--|

○活動環境の対策について

|  |
|--|
|  |
|--|

○指揮・情報伝達の対策について

|  |
|--|
|  |
|--|

